

東北地方整備局と同時発表

令和元年8月8日
道路局 国道・技術課

復興道路・復興支援道路が2020年度までに全線開通

- 東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして、国土交通省が中心となって整備を進めている復興道路・復興支援道路の路線全長550kmについて、復興・創生期間内の2020(令和2)年度までに全線開通する見通しとなりましたので、お知らせします。
- また、既に概ねの開通見通しを公表していた区間についても、具体的な開通時期について、併せてお知らせします。

<新たに開通の見通しを公表する事業> : 5区間・延長約47 km

開通予定	県名	号線	事業名	区間	延長
2020(R2)年度末	岩手	45	三陸沿岸道路 ふだい くじ (普代～久慈)	しもへい ふだいむら 下閉伊郡普代村第16地割 ～久慈IC	25km
2020(R2)年度末	岩手	45	三陸沿岸道路 たのはたみなみおかんよう (田野畑南～尾肝要)	しもへい たのはたむらおおあし 下閉伊郡田野畑村大戸 ～下閉伊郡田野畑村田野畑	6km
2020(R2)年度末	岩手	106	宮古盛岡横断道路 ひらつと いわい まつさ (平津戸・岩井～松草)	みやこ ひらつと 宮古市平津戸 ～宮古市区界	7km
2020(R2)年度末	宮城	45	三陸沿岸道路 けせんぬま からくわみなみ (気仙沼～唐桑南)	(仮称)けせんぬまこう 気仙沼港IC ～(仮称)からくわみなみ 唐桑南IC	7km
2020(R2)年度末	福島	115	相馬福島道路 りょうぜん ふくしま (霊山～福島)	(仮称)ふくしまぼら 福島保原線IC ～(仮称)国道4号IC	2km

<復興道路・復興支援道路の整備による主な効果>

- 観光の振興
- 物流の効率化
- 医療支援
- 地域産業の振興を支援

問い合わせ先: 国土交通省 代表 TEL: 03-5253-8111
道路局 国道・技術課 国道事業調整官 西川 昌宏(内線 37803)
企画専門官 関 信郎(内線 37832)
(国道・技術課直通) TEL: 03-5253-8492、FAX: 03-5253-1620

開通見通し公表済み区間における具体的な開通時期(1/2)

国土交通省が中心となって整備を進めている復興道路・復興支援道路の路線全長550kmのうち、397km・約7割が開通済み。

残り153kmのうち106kmについては、既に概ねの開通見通しを公表し、早期開通に向けて鋭意工事を進めておりましたが、この度、工程の精査による具体的な開通時期をお知らせします。

<① 2019(令和元)年内に開通する事業> : 2区間・延長約9km

開通予定	県名	号線	事業名	区間	延長
2019(R1)年度 ⇒ <u>2019(R1)年内</u>	岩手	106	宮古盛岡横断道路 となんかわめ (都南川目道路)	たのさわ 田の沢IC てしるもり ～手代森IC	3km
2019(R1)年度 ⇒ <u>2019(R1)年内</u>	福島	115	相馬福島道路 そうま そうまし (相馬～相馬西)	そうま 相馬IC そうまやまかみ ～相馬山上IC	6km

<② 2019(令和元)年度末に開通する事業> : 3区間・延長約12km

2019(R1)年度末	岩手	45	三陸沿岸道路 くじきた (久慈北道路)	くじきた 久慈北IC きむらいはま ～(仮称)侍浜IC	8km
2019(R1)年度末	岩手	106	宮古盛岡横断道路 みやこ はこいし (宮古～箱石)	みやこ しもかわい 宮古市下川井	2km
2019(R1)年度末	宮城	45	三陸沿岸道路 けせんぬま からくわみなみ (気仙沼～唐桑南)	けせんぬまちゅうおう 気仙沼中央IC けせんぬまこう ～(仮称)気仙沼港IC	2km

<③ 2020(令和2)年夏頃までに開通する事業> : 3区間・延長約23km

2020(R2)年度 ⇒ <u>2020(R2)年夏頃まで</u>	岩手	45	三陸沿岸道路 みやこちゅうおう たろう (宮古中央～田老)	みやこちゅうおう 宮古中央IC たろうまさきかいがん ～田老真崎海岸IC	17km
2020(R2)年度 ⇒ <u>2020(R2)年夏頃まで</u>	岩手	106	宮古盛岡横断道路 みやこ はこいし (宮古～箱石)	みやこ ふじわら 宮古市藤原 みやこちゅうおう ～宮古中央IC	4km
2020(R2)年度 ⇒ <u>2020(R2)年夏頃まで</u>	福島	115	相馬福島道路 りょうぜん ふくしま (霊山～福島)	(仮称)国道4号IC こおり ～桑折JCT	2km

開通見通し公表済み区間における具体的な開通時期(2/2)

<④ 2020(令和2)年内に開通する事業> : 4区間・延長約25km

開通予定	県名	号線	事業名	区間	延長
2020(R2)年度 ⇒ <u>2020(R2)年内</u>	青森 岩手	45	三陸沿岸道路 きむらいはまはしかみ (待浜～階上)	(仮称)洋野IC はしかみ ～階上IC	7km
2020(R2)年度 ⇒ <u>2020(R2)年内</u>	岩手	45	三陸沿岸道路 おかんよう ふだい (尾肝要～普代)	たの はたきた (仮称)田野畑北IC しもへい ふだいむら ～下閉伊郡普代村第11地割	8km
2020(R2)年度 ⇒ <u>2020(R2)年内</u>	岩手	106	宮古盛岡横断道路 くざかい やながわ (区界～築川)	みやこ くざかい 宮古市区界 もりおか やながわ ～盛岡市築川	8km
2020(R2)年度 ⇒ <u>2020(R2)年内</u>	宮城	45	三陸沿岸道路 うたつ もとよし (歌津～本吉)	こいずみ かいがん 小泉海岸IC もとよし つや ～本吉津谷IC	2km

<⑤ 2020(令和2)年度末に開通する事業> : 9区間・延長約84km

2020(R2)年度末	岩手	45	三陸沿岸道路 きむらいはまはしかみ (待浜～階上)	(仮称)待浜IC ～(仮称)洋野IC	16km
2020(R2)年度末★	岩手	45	三陸沿岸道路 ふだい くじ (普代～久慈)	しもへい ふだいむら 下閉伊郡普代村第16地割 ～久慈IC	25km
2020(R2)年度末★	岩手	45	三陸沿岸道路 たの はたみなみ おかんよう (田野畑南～尾肝要)	しもへい たの はたむら おおあし 下閉伊郡田野畑村大芦 しもへい たの はたむら たの はた ～下閉伊郡田野畑村田野畑	6km
2020(R2)年度末	岩手	106	宮古盛岡横断道路 みやこ はこいし (宮古～箱石)	みやこ ひきめ 宮古市墓目 みやこ はらたい ～宮古市腹帯	7km
2020(R2)年度末	岩手	106	宮古盛岡横断道路 みやこ はこいし (宮古～箱石)	みやこ かわい 宮古市川井 みやこ はこいし ～宮古市箱石	7km
2020(R2)年度末★	岩手	106	宮古盛岡横断道路 ひらつと いわい まつくき (平津戸・岩井～松草)	みやこ ひらつと 宮古市平津戸 みやこ くざかい ～宮古市区界	7km
2020(R2)年度末★	宮城	45	三陸沿岸道路 けせんぬま からくわみなみ (気仙沼～唐桑南)	(仮称)気仙沼港IC ～(仮称)唐桑南IC	7km
2020(R2)年度末	福島	115	相馬福島道路 りょうぜん ふくしま (霊山～福島)	りょうぜん 霊山IC ～(仮称)福島保原線IC	7km
2020(R2)年度末★	福島	115	相馬福島道路 りょうぜん ふくしま (霊山～福島)	(仮称)福島保原線IC ～(仮称)国道4号IC	2km

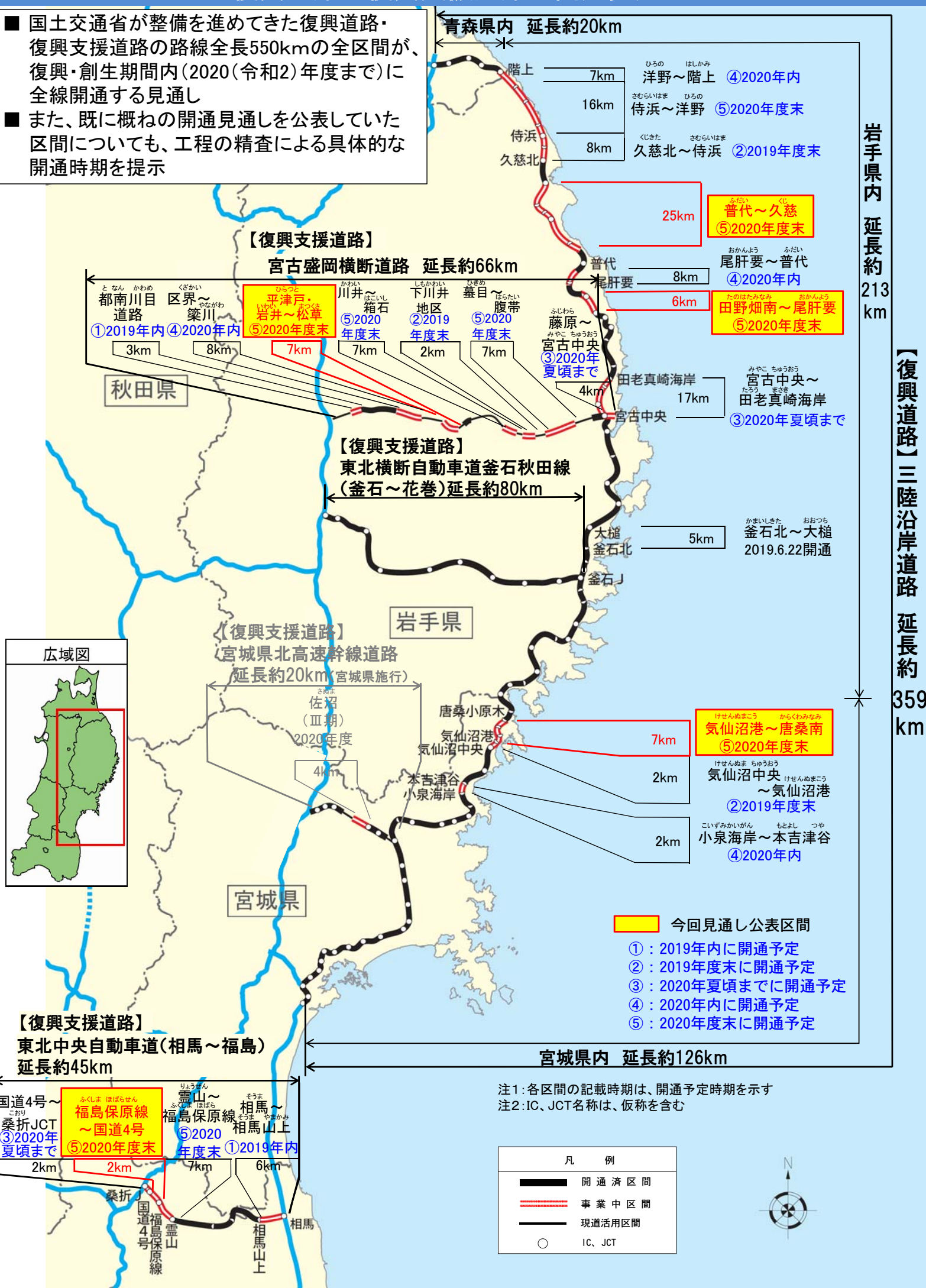
★:新たな公表箇所

なお詳細な開通日時等については、別途区間毎にお知らせします。

復興道路・復興支援道路の開通見通し

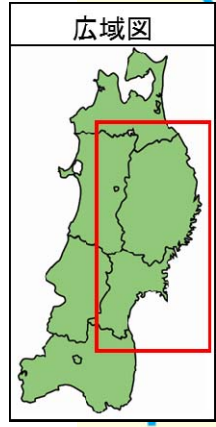
■ 国土交通省が整備を進めてきた復興道路・復興支援道路の路線全長550kmの全区間が、復興・創生期間内(2020(令和2)年度まで)に全線開通する見通し

■ また、既に概ねの開通見通しを公表していた区間についても、工程の精査による具体的な開通時期を提示



岩手県内 延長約 213 km

【復興道路】三陸沿岸道路 延長約 359 km



- 今回見通し公表区間**
- ① : 2019年内に開通予定
 - ② : 2019年度末に開通予定
 - ③ : 2020年夏頃までに開通予定
 - ④ : 2020年内に開通予定
 - ⑤ : 2020年度末に開通予定

注1:各区間の記載時期は、開通予定時期を示す
注2:IC、JCT名称は、仮称を含む

凡 例	
	開通済区間
	事業中区間
	現道活用区間
	IC、JCT



■ 国土交通省が中心となって整備を進めている復興道路・復興支援道路の路線全長約550kmの整備状況 (1/2)

＜東日本大震災前（2011.3）＞

- 対象路線のうち、160km・約3割が開通済み
- 三陸沿岸道路は、仙台市～登米市までしか開通しておらず被災した沿岸部へは未到達。沿岸部では、市街地等を迂回するバイパスなど部分的に虫食い状態での開通のみ
- 復興支援道路は、東北横断自動車道(釜石～花巻)の一部区間以外、ほぼ未整備の状況



■復興道路・復興支援道路の開通延長
＜東日本大震災前(2011.3)＞

路線名	計画延長	開通済延長	開通割合
三陸沿岸道路	359km	129km	36%
宮古盛岡横断道路	66km	1km	1%
東北横断自動車道 釜石秋田線 (釜石～花巻)	80km	30km	38%
東北中央自動車道 (相馬～福島)	45km	0km	0%
計	550km	160km	29%

凡例	
	開通済区間
	新たに開通した区間
	現道活用区間
	その他高規格幹線道路

＜集中復興期間（2016.3）＞

- 対象路線のうち、243km・約4割が開通済み
- 震災前から事業着手済み区間のみが開通(10区間・83km)
- 未だミッシングリンクが多く存在し、高速道路ネットワークとしての機能を果たしておらず、被災地の復興まちづくりに貢献できていない



■復興道路・復興支援道路の開通延長
＜集中復興期間(2016.3)＞

路線名	計画延長	開通済延長	開通割合		
			うち震災前着手	うち震災後着手	
三陸沿岸道路	359km	156km	156km	0km	43%
宮古盛岡横断道路	66km	24km	24km	0km	36%
東北横断自動車道 釜石秋田線 (釜石～花巻)	80km	63km	63km	0km	79%
東北中央自動車道 (相馬～福島)	45km	0km	0km	0km	0%
計	550km	243km	243km	0km	44%

凡例	
	開通済区間
	新たに開通した区間
	現道活用区間
	その他高規格幹線道路

■ 国土交通省が中心となって整備を進めている復興道路・復興支援道路の路線全長約550kmの整備状況 (2/2)

<現在 (2019.8) >

- 対象路線のうち、397km・約7割が開通済み
- 震災前から事業着手済み区間は概ね開通し、震災後着手区間も12区間・80kmで開通済み
- 東北横断道(釜石～花巻)は全線開通し、三沿道の仙台～宮古は気仙沼市内を除き完成するなど、高速道路ネットワークが着実に延伸
- 復興・創生期間の集中的な取り組みにより、被災地の復興まちづくりを支援



■復興道路・復興支援道路の開通延長
<現在(2019.8)>

路線名	計画延長	開通済延長	うち震災後着手		開通割合
			うち震災前着手	うち震災後着手	
三陸沿岸道路	359km	261km	203km	58km	73%
宮古盛岡横断道路	66km	28km	28km	0km	42%
東北横断自動車道 釜石秋田線 (釜石～花巻)	80km	80km	63km	17km	100%
東北中央自動車道 (相馬～福島)	45km	28km	23km	5km	62%
計	550km	397km	317km	80km	72%

凡例	
	開通済区間
	新たに開通した区間
	現道活用区間
	その他高規格幹線道路

<復興・創生期間 (2021.3) >

- 復興・創生期間内の2020年度までに、対象路線の全区間が開通できる見通し
- 復興期間の10年間で高速道路ネットワークが完成し、被災地の復興まちづくりに大きく貢献
- 2020年度内の全線開通に向け、着実に整備を推進



■復興道路・復興支援道路の開通延長
<復興・創生期間(2021.3)>

路線名	計画延長	開通済延長	うち震災後着手		開通割合
			うち震災前着手	うち震災後着手	
三陸沿岸道路	359km	359km	211km	148km	100%
宮古盛岡横断道路	66km	66km	31km	35km	100%
東北横断自動車道 釜石秋田線 (釜石～花巻)	80km	80km	63km	17km	100%
東北中央自動車道 (相馬～福島)	45km	45km	23km	22km	100%
計	550km	550km	328km	222km	100%

凡例	
	開通済区間
	新たに開通した区間
	現道活用区間
	その他高規格幹線道路

工事進捗状況

国道45号 三陸沿岸道路 (気仙沼～唐桑南)

けせんぬま

からくわみなみ



・(仮称)気仙沼湾横断橋(1,344m、斜張橋)では、海上部を横断する区間の上部工を施工中



写真①

▲(仮称)気仙沼湾横断橋 海上部主塔架設状況(R1.5月)

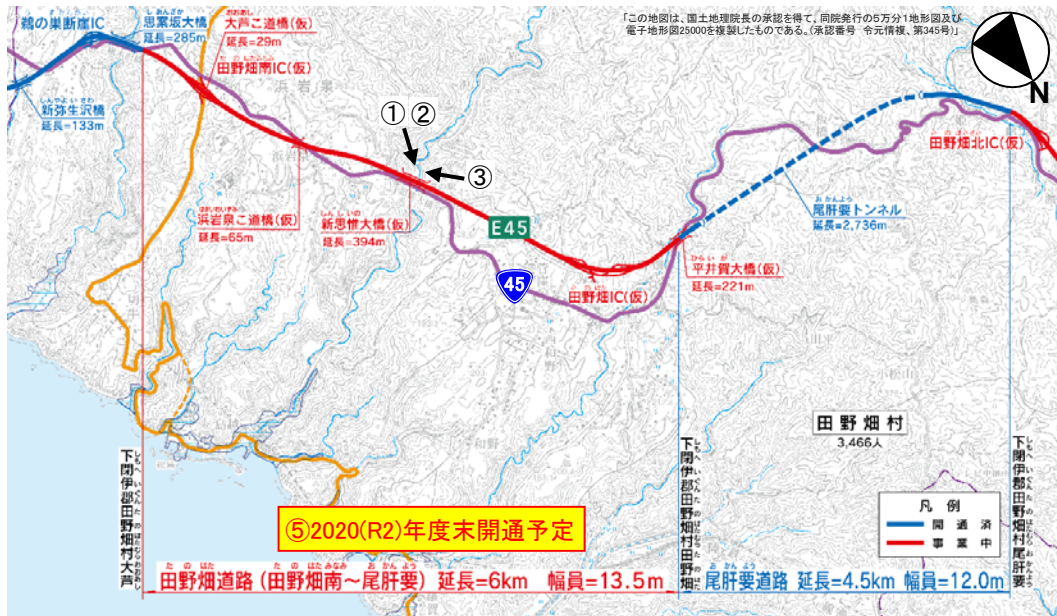


写真②

▲(仮称)気仙沼湾横断橋の上部工施工状況(海上部)



【(仮称)気仙沼湾横断橋のイメージパース】



・急峻な山間部において、(仮称)新思惟大橋(394m、橋脚高約100m)の橋梁工事を施工中

写真①



▲ (仮称)新思惟大橋下部工の施工状況

写真②



▲ (仮称)新思惟大橋の施工状況(全景その1)

写真③



▲ (仮称)新思惟大橋の施工状況(全景その2)

工事進捗状況 国道45号 三陸沿岸道路（^{ふだい}普代～^{くじ}久慈）



- ・ 起伏の多い山間部において、橋梁工事やトンネル工事を施工中
- ・ 久慈市街地周辺では、現道交通を確保しながら久慈大橋（270m）の橋梁拡幅工事を施工中



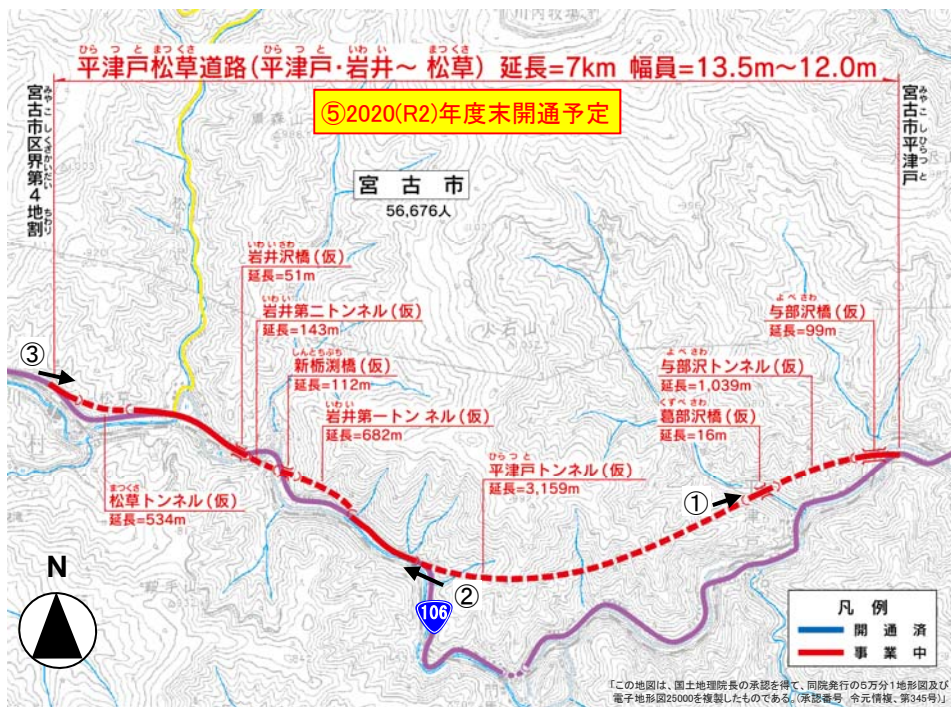
▲（仮称）新坂家大橋上部工の施工状況



▲（仮称）久慈長内トンネルの施工状況



▲ 久慈大橋下部工の施工状況



・国道106号と近接する急峻で狭隘な箇所において、現道交通を確保しながら橋梁工事やトンネル工事を施工中



▲ (仮称)与部沢トンネルの施工状況



▲道路改良工事の施工状況



▲ (仮称)松草トンネルの施工状況

工事進捗状況 国道115号 相馬福島道路（りょうぜん 霊山～ふくしま 福島）



▲道路改良工事の施工状況

- ・東北新幹線、JR東北本線を跨ぐ（仮称）桑折高架橋（1,218m）の上部工工事を施工中
- ・山間部での橋梁工事やトンネル工事、平地部での道路改良工事を施工中



▲（仮称）掛田橋下部工の施工状況



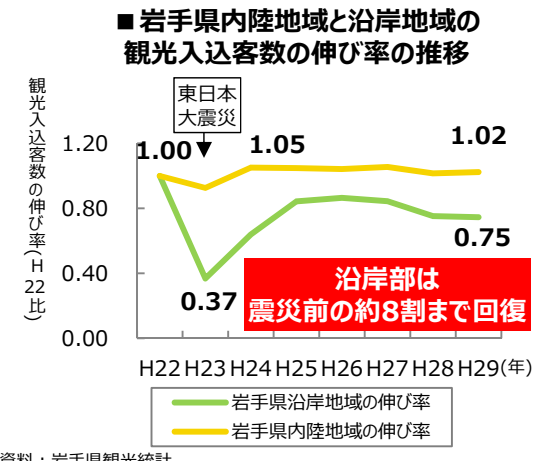
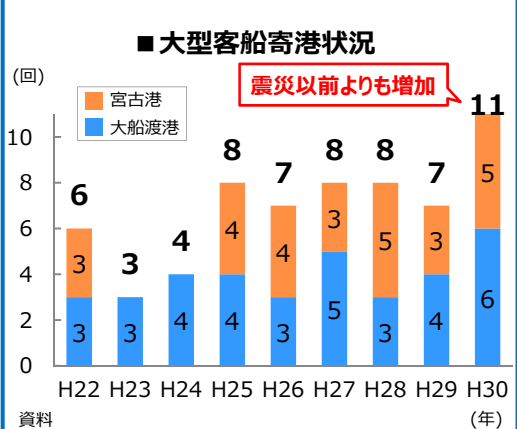
▲（仮称）桑折高架橋の施工状況

観光の振興（岩手）～ツアーの広域化～

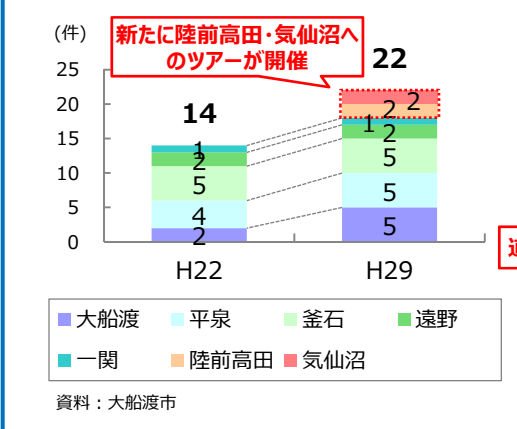
三沿道（田野畑南～尾肝要、普代～久慈）

- 岩手県沿岸地域の観光入込客数は、震災前の約8割まで回復
- 宮古港と大船渡港では大型客船の寄港数が震災前よりも増加し、オプションツアーの新たな立ち寄り先が増加
- 復興道路・復興支援道路の整備により、周遊性の更なる向上で、沿岸地域をはじめとした広域観光の振興を支援

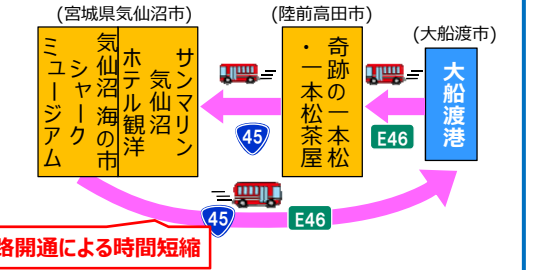
大型客船オプションツアーの状況



大船渡港寄港大型客船におけるオプションツアーの主な立ち寄り先の変化



オプションツアー旅程の例



■ 大船渡市担当者（観光推進室）のコメント

(H31.3 ヒアリング結果)
 道路の開通などによって、**気仙沼方面へのオプションツアーの実施が増加している**。三沿道全線開通で**立ち寄り箇所増加や新規ツアーに期待**。

資料：宮古市・大船渡市提供資料

物流の効率化（岩手）～道路の走行性改善による輸送効率化の実現～

三治道（田野畑南～尾肝要、
普代～久慈）

- 三陸沿岸道路の整備により、国道45号の急カーブ・急勾配区間を回避し、道路の走行性が改善
- 野田村から山田町へのホタテ種苗の輸送では、道路の走行性が改善されたため、パレット積み輸送が可能になり、積み卸し・輸送時間が大幅に短縮し、輸送効率化が実現

■ホタテ稚貝輸送の入荷状況



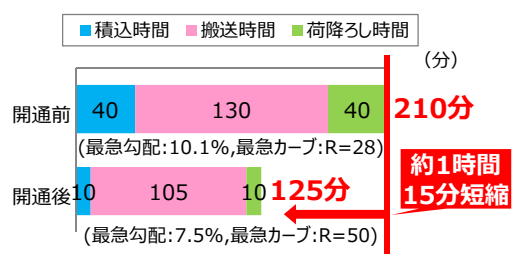
■岩手県内国道45号の急カーブ・急勾配区間の変化



資料：三陸国道事務所
 ※岩手県内国道45号を対象（並行する三治道区間開通後は線形不良箇所を除く）
 ※急カーブ区間：R < 150m、急勾配区間：i > 5%

■物流効率化事例（ホタテ種苗の輸送）

■野田漁港から山田漁港へのホタテ（種苗）の積み卸し・輸送時間の変化

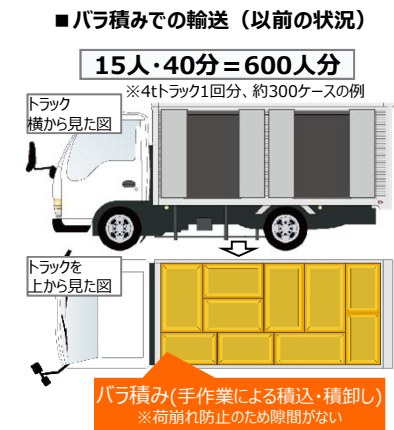


※輸送時間はH22道路交通センサス（昼間非混雑時上下平均旅行速度）設計速度を基に算出
 ※積込・荷降ろし時間は三陸やまだ漁協ヒアリング調査結果より
 ※開通前は尾肝要・普代道路開通前、開通後は山田宮古道路開通後

■野田村漁業協同組合からのコメント
 三治道開通で荷崩れの可能性が減り、パレットでの積込・輸送が可能になった。従来より積込・積み卸し作業の時間が短縮。午後の早い時間帯から翌日の準備に取り掛かれるようになった。
 （H31.3 三陸やまだ漁業協同組合ヒアリング結果）

当初の積込・輸送方法

線形不良区間を通行するため積み荷に隙間を作らないようバラ積み輸送
 ※パレット輸送では荷崩れが発生する為



現在の積込・輸送方法

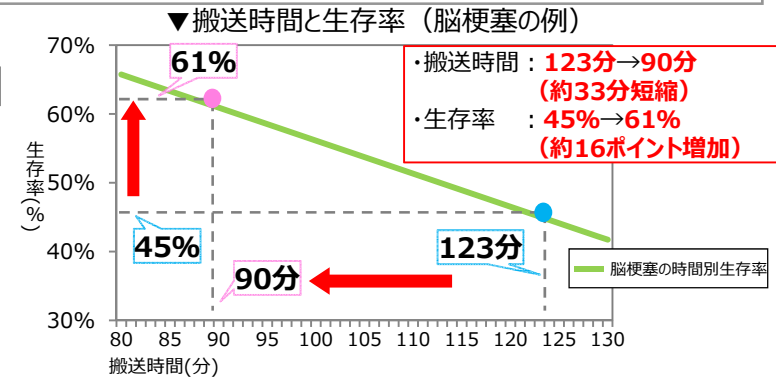
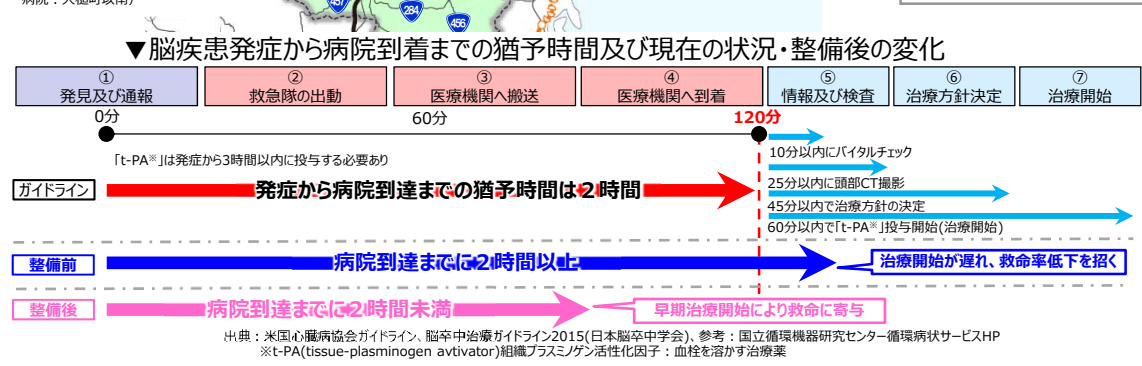
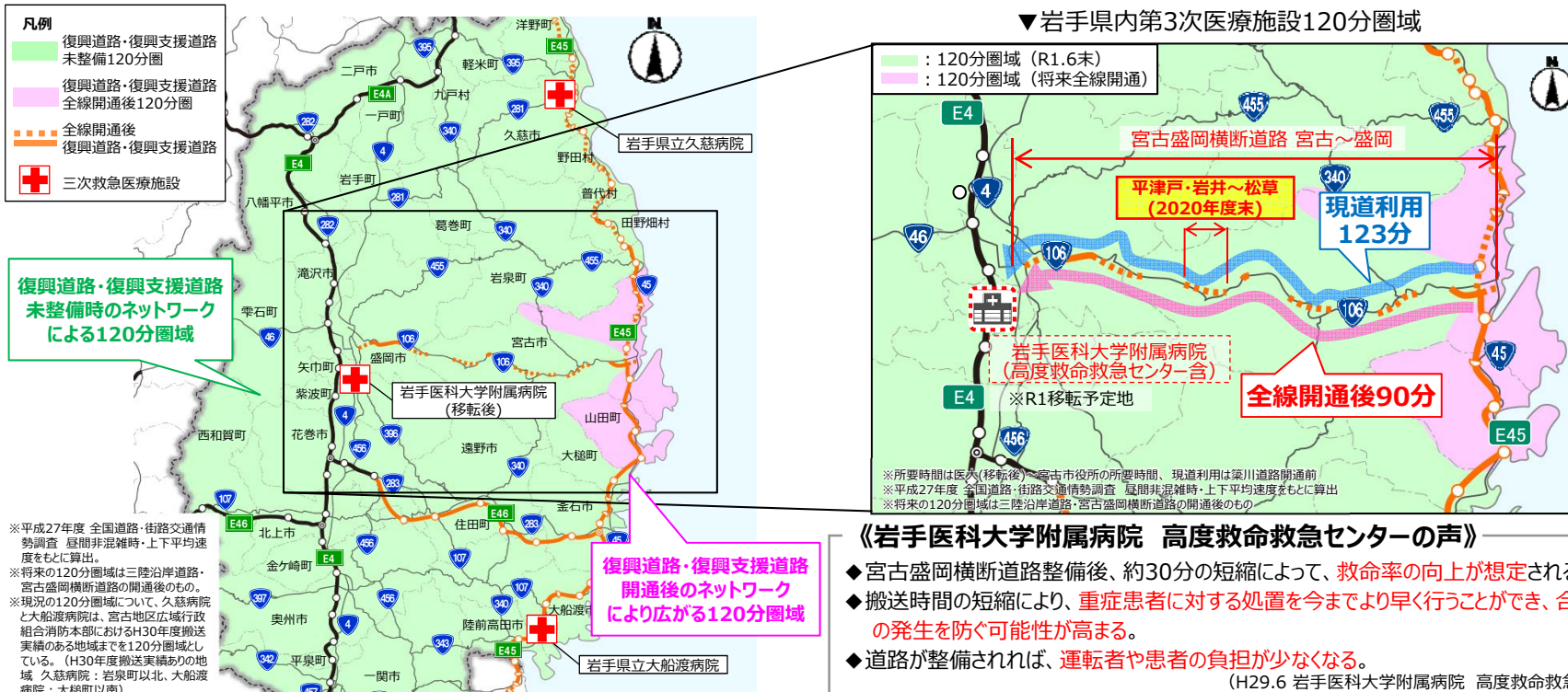
劣悪な線形不良区間を回避できるためフォークリフトによるパレット積み輸送に変更



医療支援（岩手）～迅速な救急搬送の確保～

宮古盛岡横断道路(平津戸・岩井～松草)

- 宮古市や山田町から三次救急医療施設の岩手医科大学付属病院（盛岡市）への救急搬送は2時間以上要している状況。
- 宮古盛岡横断道路や三陸沿岸道路の整備により、宮古市、山田町が2時間以内の搬送圏域となる。
- 迅速な救急搬送の確保により、発症から治療開始までの時間短縮に寄与し、重篤患者の救命に貢献。



地域産業の振興を支援（宮城）～水産業の町の復興に寄与～

三治道（気仙沼港～唐桑南）

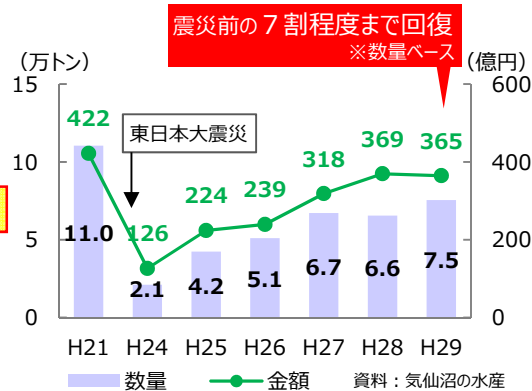
- ◆気仙沼市の水産加工業は、東日本大震災により大きな被害を受けたものの、三陸沿岸道路の整備とともに震災直後の約3.5倍、震災前の7割程度まで回復
- ◆気仙沼市の水産関連企業では、三陸沿岸道路の延伸により、輸送ルートから従来の東北自動車道利用から三陸沿岸道路利用に転換する動きが見られ、三治道開通による効果を実感
- ◆気仙沼市が整備中の水産加工団地等の整備と併せて、地域産業のさらなる振興を後押しし、沿岸地域全体の復興に寄与



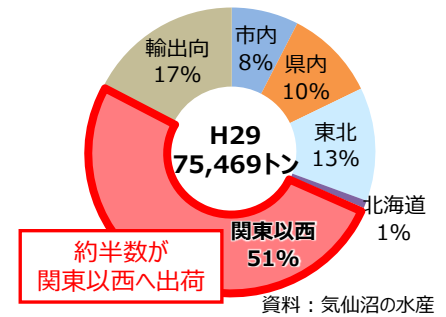
▲気仙沼市から仙台・関東方面への輸送ルートと所要時間

資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
 ※昼間12時間平均旅行速度で算出
 ※H27以降の開通区間は、道路構造に応じた速度で算出

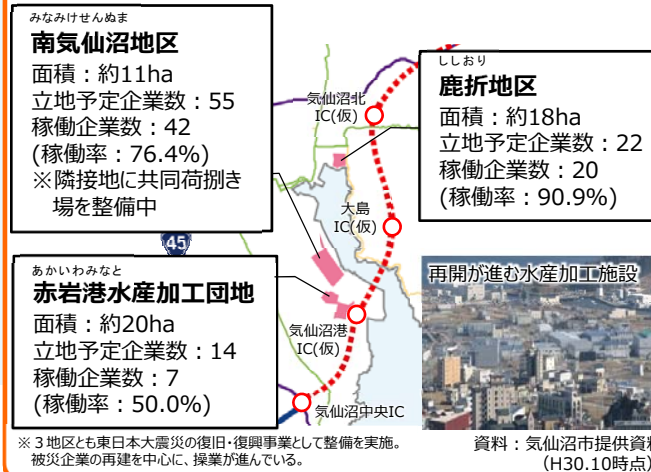
▼水産加工品生産状況の推移



▼水産加工品の出荷先内訳 (気仙沼市)



水産加工施設等の集積地・水産加工団地の整備状況



【気仙沼市の水産関連企業の声】

- H29年度の三治道開通により、東北道利用からの一部を三治道の利用に切り替えました。
 - 三治道延伸により輸送時間がさらに短縮すれば、その分を作業時間に充てることができ、生産量の増加・売上げの増加につながります。
 - 輸送時間の短縮により、朝採れ品の販売エリアが拡大することが期待されます。
- (H30.10・11ヒアリング結果)

【気仙沼市の声】

- 三治道整備により、交通面での利便性が大きく向上するので、新規企業誘致を図る上で大きなPRポイントとなっています。
- (H30.10ヒアリング結果)

物流の効率化（福島）～アクセス性向上により企業進出を後押し～

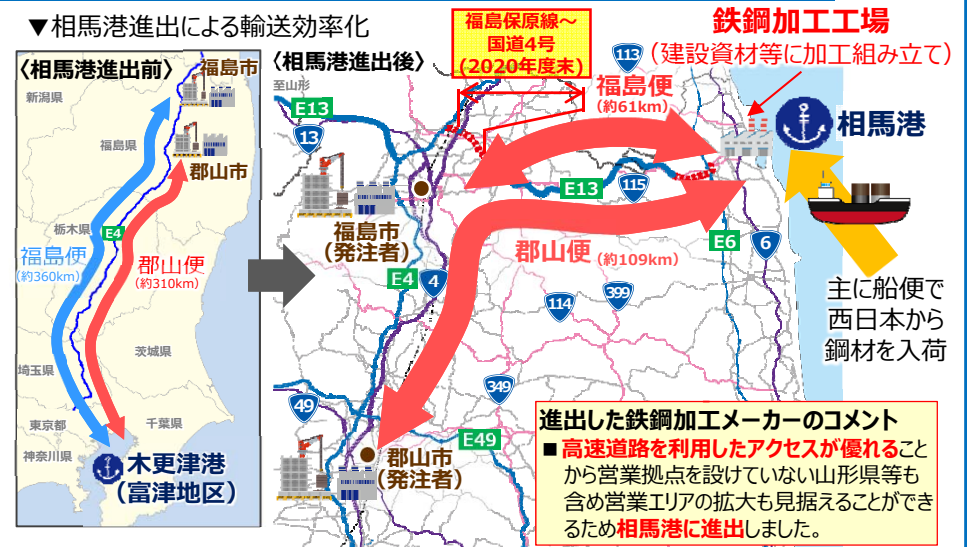
相馬福島道路(福島保原線～国道4号)～国道4号

- 福島県相双地域では工場の新増設件数が増加傾向
- 相馬福島道路の整備により内陸部へのアクセス性が向上し、相馬港背後圏でも企業立地が促進
- 福島市や郡山市に取引先があった鉄鋼加工メーカーでは、高速道路へのアクセス性や営業エリア拡大を見据え、木更津港から相馬港へ進出
- 相馬福島道路の整備により、福島県内陸地域へのアクセス性が向上し、福島の産業活性化を支援

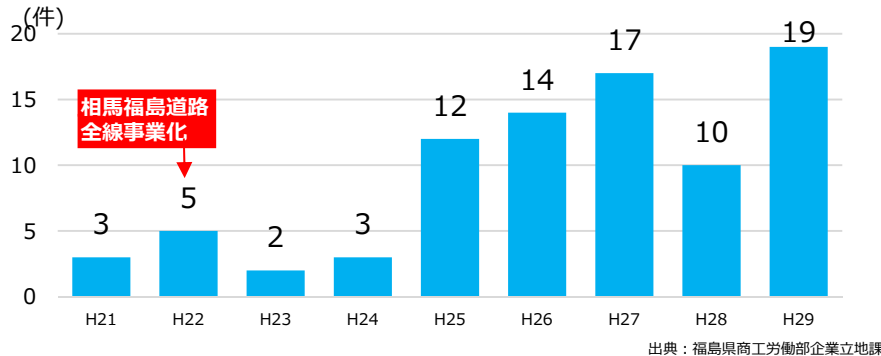
▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況



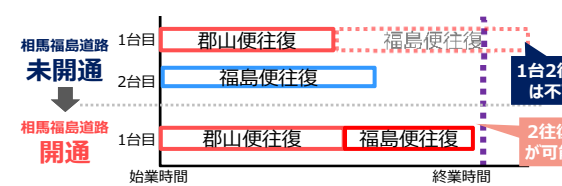
相馬港に進出した鉄鋼加工メーカー(H30.6操業開始)の輸送効率化の事例



▼相双地域における工場新増設件数



▼相馬福島道路利用による輸送効率化



進出した鉄鋼加工メーカーのコメント

■相馬港への進出及び相馬福島道路の利用によって、木更津港富津地区からの輸送に比べ輸送効率が格段に向上し、東北エリアへの陸送費は約1.5億円/年のコストダウンが見込まれます。

▼東北内の出荷量の変化

